

専門科目

| 科目番号    | 科目名   | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限  | 教室     | 担当教員                     | 授業概要   | 備考  |
|---------|---|------|-----|--------|------|------|--------|--------------------------|--|---|
| 02JZ001 | 自然保護論   | 1    | 1.0 | 1 - 5  | 春B   | 木1,2 | 人社B218 | 吉田 正人                    | 自然保護の歴史と理念、生物種の保護、生態系の管理、保護地域の設定   | 教室: 人社B218<br>01AH409, 0A0A002と同一。<br>要望があれば英語で授業                               |
| 02JZ002 | 地球環境論   | 1    | 1.0 | 1 - 5  | 秋A   | 金3,4 | 人社B216 | 角替 敏昭, 田中博, 八木 勇治, 鎌田 祥仁 | 地球の歴史と環境保全、生命維持の基礎となる地球環境の保全   | 教室: 人社棟B216<br>0A0A003と同一。<br>要望があれば英語で授業                                       |
| 02JZ003 | 保護地域管理論   | 1    | 1.0 | 1 - 5  | 秋AB  | 火3   | 人社B216 | 伊藤 太一                    | 保護地域の計画・管理の概念と展開について概説する。特に米国に誕生した国立公園が世界に広まり、多様化する過程で生じた様々な課題について論じる。また、保護地域管理カテゴリーや、世界保護地域データベース(WDPA)の課題についてもふれる。   | 0A0A004と同一。<br>要望があれば英語で授業  |
| 02JZ004 | 景観・緑地保全論  | 1    | 1.0 | 1 - 5  | 秋ABC | 随時   |        | 伊藤 弘, 黒田 乃生              | 自然環境やさらには住環境の基盤である緑地と、それらを視覚的に捉えた結果である景観の保全について、その意味するところと保全に対する考え方や手法を、事例を踏まえて概説する。また、実際に保全活動が行われている現場にてその実態を見学する。  | 教室: 人社棟B216他<br>0A0A005と同一。   |
| 02JZ006 | 生物多様性論  | 1    | 1.0 | 1 - 5  | 秋AB  | 随時   |        | 佐伯 いく代                   | 生物多様性の概念とその保全手法について、理論と実践の双方から理解を深めることを目標とします。具体的には、(1)生物多様性の概念や現状について理解すること、(2)生物多様性の基礎的な調査・解析方法について理解すること、(3)自然と調和した社会を築いていくために必要な事項を学び、自分なりの意見を持つこと、を目標とします。文系、理系問わず、いろいろな専門分野からの学生の履修を歓迎します。   | 教室: 人社棟B216<br>0A0A007と同一。  |
| 02JZ007 | Wildlife Management   | 1    | 1.0 | 1 - 5  | 秋AB  | 火4   | 人社B217 | 庄子 晶子                    | Wildlife management encompasses the conservation of threatened species, control of unwanted species, and sustainable harvest of resource species. We shall study principles and techniques of managing wild animals, which involves the investigation and manip  | 0A0A008と同一。<br>英語で授業。<br>総合研究棟A205  |
| 02JZ008 | モニタリング調査技術  | 1    | 1.0 | 1 - 5  | 秋C   | 集中   |        | 角谷 拓                     | モニタリングの意義、モニタリング調査の立案と実行、フィールド調査技術、データ解析。環境や生態系などの実態を把握する上で、モニタリングを以下に進めていくのが重要となる。本講義では、モニタリング調査の具体的事例を挙げると共に、計画の立案からデータ解析に至るまでの流れを内容に盛り込む。   | 教室: 人社B216<br>0A0A009と同一。   |
| 02JZ012 | International Conventions for Heritage Conservation (国際条約論) | 4    | 1.0 | 1・2    | 春B   | 集中   | 人社B216 | 吉田 正人, 稲葉 信子, 池田 真利子     | Through an extensive lecture, which will tackle environment, heritage conservation and development, with case studies from various countries and regions around the world, we shall learn how we continue to live with heritage, how at times we need to fight for conservation and to respect sustainable livelihoods in the rapidly changing world.  | 6/21 香坂玲氏(名古屋大学教授) 6/28 堀江正彦氏(筑波大学客員教授・外務省参与)<br>01AH412, 01EC552と同一。<br>英語で授業。 |
| 02JZ013 | Role of International Organizations and NGOs                | 4    | 1.0 | 1・2    | 秋A   | 集中   | 人社B216 | 吉田 正人, 稲葉 信子, 池田 真利子     | We shall study the roles and actions of international agencies, including NGOs, which deal with the conservation of natural and cultural environment.  | 01EC548と同一。<br>英語で授業。<br>Christinevon Weizsaecker<br>01EC548・02ZY131と同一         |
| 02JZ014 | International Cooperation for Environment                   | 4    | 1.0 | 1・2    | 春C   | 集中   | 人社B216 | 吉田 正人, 稲葉 信子, 池田 真利子     | Through cases of transnational cooperation, we shall learn the effects and challenges of international frameworks for cultural/natural heritage conservation.  | 01EC549と同一。<br>英語で授業。<br>David Sheppard<br>01EC549・02ZY132と同一                   |
| 02JZ015 | Citizens' Participation for Environment                     | 4    | 1.0 | 1・2    | 秋AB  | 火5   | 人社B216 | 池田 真利子                   | In this lecture, participants will develop their own opinions about what kind of civil participation for World Heritage could be realised and in which way by exploring civil engagement and participation for the preservation of cultural heritage other than the UNESCO World Heritage, and by understanding the upcoming heritage policies (inc. cultural and economic policy and urban regime) in the EU countries. | 01EC550と同一。<br>英語で授業。   |

| 科目番号    | 科目名  | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期                       | 曜時限 | 教室     | 担当教員   | 授業概要   | 備考   |
|---------|--|------|-----|--------|----------------------------|-----|--------|--|--|--|
| 02JZ016 | Environment and Sustainability             | 4    | 1.0 | 1-2    | 秋C                         | 集中  | 人社B216 | 吉田 正人, 稲葉 信子, 池田 真利子                                 | Is it possible to establish a sustainable society through conservation of cultural and natural heritage? Through various case studies from other Continents, we shall explore future directions. | Peter Larsen氏(ジュネーブ大学) 01EC551と同一。英語で授業。   |
| 02JZ017 | 自然保護行政論                                    | 1    | 1.0 | 1-5    | 秋C                         | 集中  |        | 吉田 正人, 渡邊 綱男, 杉原 薫                                   | 自然保護行政に係る環境省自然保護局等の関係者による講義  | 01AH411, 0A0A010と同一。渡邊綱男 前自然環境局長   |
| 02JZ018 | 自然保護法制度                                    | 1    | 1.0 | 1-5    | 秋ABC                       | 集中  |        | 吉田 正人, 杉原 薫  | 環境基本法、生物多様性基本法、自然環境保全法、自然公園法、文化財保護法、種の保存法等の理解  | 教室: 人社B216 0A0A011と同一。   |
| 02JZ019 | 環境影響評価                                     | 1    | 1.0 | 1-5    | 秋ABC                       | 集中  |        | 吉田 正人, 杉原 薫  | 環境影響評価制度実務者による講義、環境影響評価、戦略的環境影響評価(SEA)、生物多様性オフセット  | 教室: 人社B216 0A0A012と同一。   |
| 02JZ020 | 生態系の保全と復元                                  | 1    | 1.0 | 1-5    | 秋AB                        | 集中  |        | 佐伯 いく代   | 森林、湿地、里山、海洋など様々な生態系の保全と復元について、最前線で活躍されている研究者の方々のお話をうかがうことにより、こうした自然を守り、持続的に利用していくための理念と実践例について学ぶことを目的とする。キーワード: 自然保護、生物多様性、モニタリング、生態系サービス、気候変動、ほか  | 教室: 人社B218 公開講座として開催します。一般参加者方と学生とが一緒に学ぶ形式の授業です。0A0A013と同一。※TWINSでの登録は10月末で締め切りました。これ以降、履修を希望する学生は担当教員 (saeki. ikuyo. ge@u.tsukuba.ac.jp) に直接、メールしてください。 |
| 02JZ021 | 自然保護教育と環境教育                                | 1    | 1.0 | 1-5    | 秋AB                        | 集中  |        | 庄子 晶子  | 自然保護分野における教育活動の意義と展望、具体手法などについて学びます。座学と野外実習の両方があります。キーワード: 環境教育、自然保護教育、インタープリテーション、サイエンスコミュニケーション、ESD(Education for Sustainable Development)   | 外部講師: 二ノ宮リムさち(11月23日)、鳥山由子(11月24日)、人社棟B216 0A0A014と同一。   |
| 02JZ022 | 自然保護セミナー                                   | 1    | 1.0 | 1-5    | 春B<br>春C<br>秋A<br>秋B<br>秋C | 随時  |        | 佐伯 いく代, 武正憲, 和田 茂樹, 庄子 晶子, 杉原 薫                      | 自然保護にかかわる様々なトピックについて、ゲストスピーカーの講演の聴講、グループディスカッション、エクスカッション、学生による研究紹介などを通じ、理解を深める。   | 人文社会学系棟B216室などで開講する。0A0A001と同一。  |
| 02JZ024 | ジオパーク論                                     | 1    | 1.0 | 1-5    | 秋B                         | 集中  |        | 杉原 薫   | ユネスコが支援するジオパークは、地形や地質に関わる自然遺産を中心とした自然公園のひとつである。またジオパークは、それらの自然遺産を保全しながら、観光や教育などの持続的な地域振興につながる様々な活動を推進する仕組みでもある。本科目は、筑波山地域ジオパークを例として、ジオパークの理念や仕組みについて、市民と学生とが一緒に学ぶ機会を創出することを目的とする。                | 教室: 人社B218 0A0A006と同一。12/19-20 ※本科目の受講にあたり、履修登録者は事前にこちらが示す参考文献を精読し、その概要をまとめたレポートを当日までに準備する必要があります。よって本科目の登録は、開講日の2週間前となる9月20日(金)に登録を締め切ります。              |
| 02JZ025 | サイエンティフィック・ジャーナリズム                         | 1    | 1.0 | 1-5    | 春C<br>秋A<br>秋B             | 随時  |        | 和田 洋   | プロフェッショナル サイエンスライターの直接の指導を受けながら、自然保護寄附講座のイベント報告などを作っていき、文章構成力などを習得します。プロによる直接の添削を受けることで、プロの技を学びます。   | 教室: 人社棟B216 0A0A015と同一。  |
| 02JZ026 | 自然保護特別講義1(科学と社会のコミュニケーション)                 | 1    | 1.0 | 1-5    | 夏季休業中                      | 集中  |        | 武正憲, 伊藤 太一, 早岡 英介                                    | 自然番組や科学番組の制作経験のある早岡英介氏による講義  | 人社棟B216 0A0A016と同一。9/28-29   |
| 02JZ027 | 自然保護特別講義2(Nature-Culture Linkage Workshop) | 1    | 1.0 | 1-5    | 秋A<br>夏季休業中                | 集中  |        | 吉田 正人, 稲葉 信子, 池田 真利子, ISHIZAWA ESCUDERO Maya Natalia | Nature-Culture Linkageの講義  | 教室: 人社B218 英語で授業。  |

| 科目番号    | 科目名                                  | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期              | 曜時限 | 教室 | 担当教員   | 授業概要   | 備考  |
|---------|--------------------------------------|------|-----|--------|-------------------|-----|----|--|--|---|
| 02JZ102 | 海域フィールド実習                            | 3    | 2.0 | 1-5    | 夏季休業中             | 集中  |    | 和田 茂樹, 今 孝悦, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ                  | 下田臨海実験センターにおける海洋自然体験活動実習。普段の生活の中では、海はその表面しか見ることができない。しかし、海の自然を知り保護していく上で、海の中の生物や環境を詳しく知ることが不可欠である。本実習では、実際に受講生が海の自然を体験し、その中でどのような生物・環境が生態系を構築しているのかを洞察することを目標とする。自然を保護するためには、実際にどのような環境や生物が自然の生態系を形作っているかを知らなければいけない。本実習では、下田臨海実験センターで実際にフィールド調査を実施し、海の生物や環境の複雑  | 開講：下田臨海実験センター<br>0A0A101と同一。<br>8/31-9/5<br>船舶調査、磯観察、伊豆半島海岸の国立公園視察などを予定しているが、人数・海況・天候やその他の事情を考慮して内容は変更する可能性がある。宿泊・食事代は約6000円、交通費は筑波⇄下田間が約15000円。尚、安全管理上の都合のため、参加人数は15名を最大とする。   |
| 02JZ106 | Project Practice in Natural Heritage | 7    | 2.0 | 1-2    | 春季休業中             | 集中  |    | 吉田 正人, 庄子 晶子, 杉原 薫                                   | By carrying out field studies at an identified site outside Japan, we shall learn what is actually at stake in identifying with our own eyes the issues and challenges, who are the actors, what are their respective roles, and how consensus-building is made for a chosen solution for the better of balancing heritage conservation and sustainable development.   | 01EC564と同一。<br>英語で授業。<br>含野外調査<br>オーストラリア・タスマニア島、タスマニア大学との合同実習  |
| 02JZ107 | 陸域フィールド実習1                           | 3    | 1.0 | 1-5    | 春B<br>春C<br>夏季休業中 | 集中  |    | 上條 隆志, 佐伯 いく代  | 自然保護、特に陸域の生物多様性保全・希少野生生物の保全について学ぶ。実習地はハヶ岳周辺とする。  | 筑波山、ハヶ岳演習林<br>0A0A102と同一。   |
| 02JZ108 | 陸域フィールド実習2                           | 3    | 1.0 | 1-5    | 秋AB               | 集中  |    | 佐伯 いく代, 上條 隆志  | (1)大学近郊の里山を訪ね、身近な自然のもつ特徴を理解する、(2)里山の保全活動をされているNPOの方にお話をうかがい、成果や課題などについて学ぶ、(3)動物センサーカメラを設置し、自ら野生生物のデータを取得・解析して、管理者の方に管理手法の提案をする(グループワーク)。<br>Goal: (1) Visit Satoyama ecosystem in Tsukuba city and learn its characteristics, (2) interview land managers (NPO) about their management practices, and (3) set animal-sensor cameras, analyze the data, and provide management proposals to the manager based on the data (group work). | 自然保護寄附講座サーティフィケートプログラムの履修生のみ受講可能。自然保護寄附講座の履修については、4月上旬に実施される学内での説明会に参加し情報を得ること。<br>This practice is open to the students who belong to the Certificate Programme on Nature Conservation.<br>0A0A103と同一。<br>10月19日(月)、11月16日(月)、12月14日(月)開講予定。 |
| 02JZ109 | 保護地域・野生生物管理実習1                       | 2    | 1.0 | 1-5    | 春C<br>春季休業中       | 集中  |    | 武 正憲, 伊藤 太一  | 国立公園やエコパークなどの保護地域を訪れ、保護地域管理の実態を体験する。保護地域管理の現場より、実践的な管理理念や手法を体験する。  | 筑波山(7月5日)、南アルプスの奥山地域での登山活動(北岳)ほか(9月4-5日)<br>0A0A104と同一。   |
| 02JZ110 | 保護地域・野生生物管理実習2                       | 2    | 2.0 | 1-5    | 春C                | 集中  |    | 庄子 晶子  | 国立公園やエコパークなどの保護地域を訪れ、保護地域や野生生物管理の実態を体験する。人と自然・保護地域の接点における自然保護活動の現場より、実践的な管理理念や手法を体験する。II は保護地域周辺地域を主な実習対象地とする。   | 南アルプスほか南アルプスの里山地域での野生生物管理活動<br>0A0A105と同一。<br>7/4-7/10  |
| 02JZ111 | 自然保護特別実習1                            | 2    | 2.0 | 1-5    | 秋A<br>夏季休業中       | 集中  |    | 吉田 正人, 稲葉 信子, 池田 真利子, ISHIZAWA ESCUDERO Maya Natalia | Nature-Culture Linkageの実習  | 英語で授業。  |
| 02JZ113 | 自然保護特別実習2                            | 2    | 2.0 | 1-5    | 通年                | 随時  |    | 佐伯 いく代   | 国際シンポジウムの企画運営を通じ、自然保護に関わる関係者とのコミュニケーションをはかり、主体性、協調性、国際性、リーダーシップなどの実践能力を養う。   |   |
| 02JZ201 | 短期インターンシップ                           | 3    | 1.0 | 1-5    | 通年                | 随時  |    | 佐伯 いく代   | 国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における短期間(のべ10日以上20日未満)のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関するものとする。   | 1ヶ月未満(10日程度)<br>0A0A201と同一。   |
| 02JZ202 | 中期インターンシップ                           | 1    | 2.0 | 1-5    | 通年                | 随時  |    | 佐伯 いく代   | 国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における、のべ20日以上40日未満のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関係するものとする。  | 1ヶ月以上、3ヶ月未満(20日程度)<br>0A0A202と同一。   |

| 科目番号    | 科目名        | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員               | 授業概要  | 備考   |
|---------|------------|------|-----|--------|------|-----|----|--------------------|---|--|
| 02JZ203 | 長期インターンシップ | 3    | 3.0 | 1 - 5  | 通年   | 随時  |    | 佐伯 いく代             | 国、地方自治体、民間企業、自然保護団体等における長期間(のべ40日以上)のインターンシップ。勤務内容は自然保護に関係するものとする。  | 3ヶ月以上、1年以内(40日程度) OA0A203と同一。                  |
| 02JZ204 | 海外インターンシップ | 3    | 5.0 | 1 - 5  | 通年   | 随時  |    | 吉田 正人              | 自然保護寄附講座開講の趣旨として、国際的な視野を持ち、自然保護の現場で活躍することができる学生を育てることがあります。国際自然保護連合(IUCN)や国連教育科学文化機関(UNESCO)、生物多様性条約事務局等の海外に事務所をおく国際機関において、一定期間以上、海外に渡航して、インターンシップを行う海外インターンシップに対して、インターンシップ報告書、受け入れ団体の評価に基づいて、標記の単位を与えるとともに、旅費、滞在費の支援を行います。詳細は「インターンシップ制度について」の通りですが、IUCNインターン | 6ヶ月(IUCN) OA0A204と同一。英語で授業。                    |
| 02JZ205 | 海外自然保護特別研究 | 6    | 3.0 | 1 - 5  | 通年   | 随時  |    | 吉田 正人, 和田茂樹, 庄子 晶子 | 自然保護寄附講座開講の趣旨として、国際的な視野を持ち、自然保護の現場で活躍することができる学生を育てることがあります。筑波大学と国際交流協定を結んだ大学において、自然保護に関する研究を目的に留学する学生に対して、留学中の授業のみならず、現地の自然保護に関する事例研究を行い報告書を提出することを条件に、標記の単位を与えるとともに、旅費、滞在費の支援を行います。詳細は「海外留学について」の通りですが、オーストラリアのタスマニア大学の場合、毎年2月末から6月はじめにかけて、自然保護地域の管理に関する授業がありま | タスマニア大学、ディキン大学など提携大学での研究活動など OA0A205と同一。英語で授業。 |